



たんぽぽ・桃組だより

徳重清凉保育園



朝晩の寒さも日に日に増し、季節はすっかり冬になりましたね。園庭やテラスに出ると、子ども達は元気いっぱい走り回って体を動かしています。

たんぽぽ組の子ども達は、みんな食べるのが大好きです。給食やおやつの際には、配膳されるまで上手に待つことも出来るようになりました。月齢に応じて保育士がスプーンの使い方を知らせると、おかずをすくう姿も見られるようになりました。ぜひ、ご家庭でもスプーンに挑戦できるよう一緒に見守っていただけたらと思います。

桃組の子ども達は、保育士と一緒に玩具を「かして」「ちょうだい」と仕草や言葉で伝える姿が増えてきました。引き続き、思いが伝わる喜びを沢山感じることで、友達とのやり取りが一層多くなるようなかわりを大切にしていきたいと思っています。

今月は餅つき、生活発表会、クリスマス会と行事が沢山あります。子ども達と一緒に楽しんでいきたいと思っています。

今年も、日々の保育へのご理解、ご協力ありがとうございました。来年も宜しくお願い致します。



☆今月のねらい☆

《たんぽぽ組》

生活：友達と一緒にいる心地良さを感じる。

遊び：冬の外気に触れながら、身体を十分に動かして遊ぶ。

《桃組》

生活：衣服の着脱に意欲的に取り組み、身の回りの事を自分でやろうとする。

遊び：保育士や友達と言葉のやり取りをしながら、ごっこ遊びを楽しむ。



たんぽぽ組さんは、様々な型はめの玩具を何度も繰り返し楽しんでます。

桃組さんは、新聞紙遊びが大好きです。子ども達がちぎった新聞紙を保育士が上から降らすと「やったー！」と大喜びです。





徳重清凉保育園

いよいよ今年も残り一か月となりました。朝晩の寒さや、日中の風の冷たさからもすっかり『冬』を感じます。クラスでは、寒さに負けず活動する子ども達の笑い声が沢山聞こえてきます。

生活や遊びの中で、友達との関わりが増え名前を呼んで遊びに誘ったり、一緒に遊びを同じ思いで楽しむ姿が見られるようになりました。積み木遊びでは、「お家作ろう」と一人の子どもが声を掛けると他の子ども達も集まってきて「ここはこうしよう」などと言葉のやり取りをしながら楽しむ姿が微笑ましいです。時には思いがぶつかる事もありますが、保育士が見守りながら仲立ちをして必要な言葉を丁寧に知らせるようにしています。また、生活面ではトイレやお昼寝前の着替え、食後のうがいや帰りの支度など自分でできることが、どんどん増えてきました。ズボンの裏返しを直してスムーズに足が通った時の子ども達の「できた！」の顔がとても素敵です。保育士が「できたね」「かっこいいね」と声を掛けると「だってもうすぐ桜組さんになるもん」と意欲が高まってきている堇組さんです。子ども達の「自分でできた」の喜びに共感し、来年も保護者の皆様と共に成長を見守っていかれたらと思っています。宜しくお願い致します。

ねらい

- 友達と一緒に、いろいろなごっこ遊びや行事に参加して楽しむ。
- 寒さに負けず、元気に体を動かして遊ぶ。

